



## 脳にもあるゴールデン・エイジ！ 必読！

前回の学校だよりで、「8歳から12歳までは。ゴールデン・エイジといわれ身体能力が格段に伸びる時期だ。」と書きましたが、実は身体能力ばかりでなく「脳」にもこのゴールデン・エイジがあるのです。黒川伊保子氏は著書「脳育ての黄金ルールー子どもの脳を豊かに育む脳科学ー」のなかで、ゴールデン・エイジの時期に読書をする事の大切さを次のように述べています。

9歳～11歳（脳科学者はこの年齢をゴールデン・エイジといいます）に読書することは、何よりの英才教育です。9歳の誕生日から12歳の誕生日までの3年間は、脳の中の神経ネットワークが劇的に増える時期です。だいたい12歳で、脳の複雑な神経回路のおおよそは完成します。だからこの3年間の読書は、大変重要になります。そのためには、8歳までにぜひ読書の習慣をつけていただきたいと思います。

本好きを育てる、本との付き合い方

- ・0～2歳はおもちゃの一部であり、コミュニケーション・ツール。ストーリーよりも、発音の楽しさ、かたちや質感の楽しさを単純に楽しめる物を。
- ・3～8歳は、読み聞かせと音読が大事。本ではなくても、ものがたりを聞かせるのも有効なとき。
- ・9～11歳は、ファンタジーや科学本など、日常とは違った世界を経験しよう。それ以外の年齢の読書の何倍も知識になる。

親が楽しそうに読書をしている姿を見せることを忘れないで！

小学校の大切な時期(ゴールデン・エイジ)に読書をする習慣を身に付けさせることは、子どもたちの脳を育てることに極めて重要なことがわかります。

本校では、本に親しむことや読書の習慣を身に付けさせるために、毎週水曜日と金曜日の朝の時間を「読書タイム」と位置付け全校一斉で読書をしています。また、図書ボランティアの方々が、図書室の環境整備ばかりでなく、1年から4年生を対象に各教室で読み聞かせを行っています。

ご家庭でも、ぜひ、「わが子の豊かな脳を育むために」お子様と本をいっしょに読む楽しさを共有していただけたらと思います。

子どもたちが本を読みたくなるような環境とは

- 子どもの読みたくなるような本が身近にある
- 子どもが本にふれる場や時間がある
- 子どもを本好きになるように導く大人や友達がいる



平成27年度須二小図書ボランティアの皆様を紹介します。

敬称略

赤井田仁子、小野忍、熊田ゆき、今野奈緒美、佐山律子、鈴木寛子、添田和香子、深谷ひろみ

町田功実江、松井美香、松田照美、宗像礼子、荒川文子、市村宏子

読み聞かせの予定日・全10回木曜日実施



## 全国小学校陸上競技交流大会福島県予選会・県南（岩瀬・石川）地区予選会の結果

6月6日（土）鏡石鳥見山陸上競技場で上記の予選会が行われました。岩瀬・石川管内から小学5・6年生男女約600名が出場し健脚を競いました。須二小の選手の活躍も素晴らしく、多くの子どもたちが県大会の出場切符を得ました。

〈県大会出場者〉 県大会は、7月5日福島市の「とうほうみんなのスタジアム」で行われます。

男子 走り高跳び 3位 原 一心（6年）  
 女子 ソフトボール投げ 2位 大槻茉央（5年）、4位 渡辺瑞季（5年）、6位 村田叶実（6年）  
 5年女子 100m 6位 寺澤璃咲（5年）  
 女子400mリレー 4位（山田陽菜、岩崎心海、須田日菜子、永沼さくら・全員6年）  
 男子400mリレー 6位（薄井駿、吉川修平、行方和厚、深谷勝永・全員6年）

〈入賞者〉

女子 走り高跳び 8位 赤井田彩乃（6年）



女子リレーメンバー

## 第83回よい歯の表彰

| よい歯の優良児童 | 図画ポスター          | 書写            |
|----------|-----------------|---------------|
| 6年 駒場 萌風 | 〈入選〉 1年 伊藤 幹太   | 〈特選〉 2年 渡辺 蒼唯 |
| 6年 堺 千浩  | 2年 西間木 壘        | 〈入選〉 1年 松井 彩華 |
| 6年 松井 未奈 |                 |               |
| 6年 佐藤 諒  | 作文〈入選〉 5年 鈴木 彩紗 | 渡辺蒼唯さんの作品→    |

かむ  
わたなへあおい

「むし歯ゼロをめざして」 5年 鈴木 彩紗

「特に問題は見つかりませんでした。これからもこの状態を保つために、歯みがきや食生活に注意し、また、定期的にかかりつけの歯科医のチェックを受けて、歯・口の健康づくりに心がけましょう。」

今年の歯科検診の結果です。私は、この結果を見てびっくりしました。これまでも、むし歯がなかったことはありませんでした。だから、この結果は私にとっては、予想外のことでした。私は思わず心の中で、「やったあ。」とさけんでしまいました。

実は、私がむし歯になったのは幼稚園のころでした。小さいころからずっと歯医者さんに通っていたのです。幼稚園のころは行く前に必ずと言っていいほど「行きたくない。こわいからいやだ!!」と言っていやがっていました。そんな時、お母さんは、「がんばったね。ごほうびだよ。」と言っておかしなどを買ってくれました。私は、お母さんの優しさもうれしかったけれど、今考えると、あのお母さんの作戦にうまくのせられて、歯医者さんに行くのがこわくなくなったのだと思います。

昨年の検診の時もやはり、歯医者さんに行きました。その時は、早期発見だったので、1回で治療が終わりましたが、歯医者さんに行くのは、私にとって当たり前のことでした。そして、歯科の先生に、「始めは、歯みがき粉をつけないでやったほうがいいんだよ。一本一本みがいてから歯みがき粉を使った方がいいよ。」

私はさっそく家に帰り、鏡を見ながら細かく歯ブラシを動かしてみがいてみました。すると、口の中がスッカリとして、歯と歯の間もきれいになったような気がしました。それからは、学校の給食の後の歯みがきでもみんなといっしょに音楽に合わせながらお歯まで磨くように気を付けています。お母さんには、夕食後、「歯ぐきまでみがいたほうがいいよ。」と言われていました。今は、歯みがきするのが楽しくなり、食後にはすぐにみがくようになりました。

そして、むし歯予防に欠かせないのが早期発見です。私の家には歯科医院から定期的に健診のさそいがきます。今年も4月早々にハガキがきて調べてもらっていたのです。早期発見、早期治療はおすすめです。

これから体がどんどん成長していく自分には、歯が大切です。食事も大切ですが、それと同じくらい、いやそれ以上に歯は大切です。体づくりにはじょうぶな歯が必要です。

私は、今年の「むし歯ゼロ」を保つためにこれからも歯を大切に、笑顔ですごしていこうと思います。